

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年2月18日		～ 2026年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年2月18日		～ 2026年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体験活動では、週毎にやる内容を変え、楽しんで色んな体験が出来るようにしている。	一か月前にスタッフでイベントや体験活動に向けての会議を行い、意見を出し合いながら、どうすれば良い楽しんでもらえるかを話し合っている。	家族参加のイベントや地域のイベント、交流の機会も作っていききたい。
2	外部講師を招いてのモノづくりや、スケート外出など特別なイベントも実施している。	青山学園の学生ボランティアの受け入れを実施し、サッカー観戦に招いて頂けるなど交流に機会を作る事が出来た。長期休みや祝日などには外出やイベントを設定し、より楽しんで頂けるような企画を考えている。	
3	運動においても週毎に取り組む内容を変え、飽きがこないようにしている。	うんどう頑張りカードを作り、自分が今できることを理解すると共に、「出来るようになりたい」と向上心を持てるような支援を行った。	運動専門スタッフとの打ち合わせを行い、より内容や指導方法についての改善を図って行く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常勤スタッフとの情報共有。	勤務体制の都合上、全てのスタッフが会議等に参加するのは難しい部分がある。	一斉参加が難しい場合は、別の機会を設けて話し合いや情報共有を出来るようにしていきたい。
2	専門性を高めるような研修があまり出来ていない。	外部の研修に参加する機会をつくれなかった。虐待防止などの基礎的な研修は行えているが、さらに専門性を高めるような研修は実施出来なかった。	オンラインの研修も活用しながら、より専門性を高められるような研修に参加出来るようにしていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ブレイククラブピッツ陽光台教室

公表日 2026年3月31日

利用児童数 33名

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				1	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2		1		職員研修については今後も実施し、より専門性を高めていけるようにしたいと考えております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				こどもの気持ち、気分、やってみようという気持ちをその都度大事にしております。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				1	これはできたので次はこれをやってみようかと常に考えてくださる、家で取り組んでいることを聞いてプログラムのヒントにしてください。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	7		6	地域の学生と活動する機会を設けてくださり、実際に参加して楽しかった。	機会をつくっていききたいと思います。兄弟児等との交流の機会からまずは作って行きたいです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2		4		相談があれば対応させて頂けるような体制はあります。実際にペアレントトレーニング実施することは少ない。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1		2		ご相談があった際は対応させて頂くように努めております。モニタリングの時期に行っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2				いつも温かい支援ありがとうございます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1		3	保護者も参加できるイベントでは、普段の様子を聞いてありがたい。	本年度は田植えや、バーベキュー、サッカー観戦といったイベントは家族参加で実施しました。参加のスケジュールが合わなかったご家庭もあったかと思えます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13		1	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14		1		ラビッツのお迎えを楽しみにしています。	今後も楽しんで頂けるようなイベント、企画を考えていきたいと思っています。気のある事があればご連絡なくおっしゃって下さい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		1	いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブレイクラブラビッツ陽光台教室				公表日	2026年3月19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・基準人員に加え、非常勤スタッフを配置して支援に当たれるようにしている。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		跳び箱、鉄棒、マットまど体を動かし楽しめる環境を作っている。広い運動スペースを確保できるようにしている。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	パーテーションやカーテンで区切れるようにしている。	カーテンでは区切っているが、パーテーションなどの対応、個室みたいなものがあると良いと感じる部分はある。構造上可能な範囲で個室のスペースを作れないか検討していく。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		非常勤スタッフの参画が難しい場合がある。会議などにも参加出来るようなスケジュール調整を行って行きたい。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日のミーティングではスタッフが意見や気になった事を発言し、検討出来るようにしている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		外部評価は実施出来ていない。見学者や、訪問者などの第三者の方に対するアンケートの実施を検討していく。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7					
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページにて閲覧できるようになっている。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6					
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		非常勤スタッフへの共有が足りないと感じている。今後はより共通意識をもって支援していきけるような体制作りをしていきたい。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・日々の運動プログラムや、体験活動は週ごとに 変更するようにしている。調理や農作業、工作、 レクリエーション、外出なども実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・集団活動への参加が難し児童に対しては、マン ツーマンでの支援を行ったり、個別で取り組める ような内容に変更を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		・支援後に行えないこともある。電話や翌日 の朝のミーティングなどを活用し、報告、共 有は出来ている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	5	1		・非常勤スタッフも含めた記録も検閲中。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・選択肢を設けて、子どもが自分で選べるよ うに心がけている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	6	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	3	2		・卒業生がいいため未実施である。 ・先の進路の理解が少ないため情報提供が出来ていな い。勉強不足とも感じることもあるため、情報収集や つながりのある進路先なども増やして行きたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		・事業所内での研修は実施しているが、外部の研修に参 加する機会が少なかった。今後は外部の研修にも参加出 来よう体制を整え、機会を増やして行きたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	2	4	青山学園の学生との交流、ボランティア等は 実施した。	・まずは兄弟児などとの交流の機会を作っ ていきたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		4		・相模原市では事業所が参画できるような場 がないため、模索中である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や面談時、また日頃からアプリを使っ て情報共有できるようにしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	5				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	4	1		非常勤スタッフにおいては、良く理解していない場合 があった。非常勤スタッフについても制度や取り組みにつ いての共有が出来るようにしていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		非常勤スタッフにおいては、良く理解していない場合 があった。非常勤スタッフについても制度や取り組みにつ いての共有が出来るようにしていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1		非常勤スタッフにおいては、良く理解していない場合 があった。非常勤スタッフについても制度や取り組みにつ いての共有が出来るようにしていきたい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		非常勤スタッフにおいては、良く理解していない場合があった。非常勤スタッフについても制度や取り組みについての共有が出来るようにしていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1		非常勤スタッフにおいては、良く理解していない場合があった。非常勤スタッフについても制度や取り組みについての共有が出来るようにしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		非常勤スタッフにおいては、良く理解していない場合があった。非常勤スタッフについても制度や取り組みについての共有が出来るようにしていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		非常勤スタッフにおいては、良く理解していない場合があった。非常勤スタッフについても制度や取り組みについての共有が出来るようにしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		・地域の方が参加出来るような機会は作れなかった。今後のそういった機会を作れるように検討すると共に、地域での交流先などを作れるようにしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		該当者がいないため未実施となっている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月検討会議を行うようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				